



KURODA International

Create the future

貨幣経済と市場原理、資本主義という現実へ

KURODA International Foundation

Takeshi Kuroda

これらは市場における必要性が貨幣価値を与え、その自由経済システムは、需要と供給における競争原理における経済システムを与える。これらは富のヒエラルキーという現実を有する。これらが競争という闘いを経済において与え、その栄華は、唯一称賛を有する。

倫理的・道徳的判断をこれらに求める時、富の追求と弱者の創造という現実は、経済における弊害として有する。他方においては、企業倫理性の要求やCSRにおける社会参加という潮流は、新しい倫理要求を経済に求める。

市場の占有は、富の占有を与える。これらは開発環境と自己資本力における寡占は、はるかに大きな社会需要を基盤とした力を有するのである。

これらは必要性という社会要求において、経済と政治の新しい関係を有する。これは経済が、政治を離れ、自己の追求を自由主義社会において有するのである。

国際貿易ルールにおいて、フェアトレードと西洋の倫理主義という現実は、新しいルールを追求するのである。

これら現実への考察は、競争原理における経済至上主義と富のヒエラルキーにおける現実である。この永続が世界の永続であることは正しいはずである。

他方においては貧困が存在する。経済が豊かさの創造であることは必ず正しいのである。これらは新しい可能性の創造は、新しい軽税システムの構築において実現を可能とすると考える。

これらは現状の技術革新が、新しい社会システムの創造を明らかに可能とするのである。これら新しい世界の創造は、倫理的な自己判断を世界を求めたいと考える。